

一般社団法人日本外語教育会 様

Lenovo

動作の安定性が格段に上がって、
スペックも上がり、インターフェイスも使いやすいです。
充電の持ちも非常にいいです。



ミッドリーム日本語学校の外観



一般社団法人日本外語教育会 ミッドリーム日本語学校
校長 山田貴彦様

ミッドリーム日本語学校は東京都新宿区にあり、1985年創立の日本語学校です。日本国内の大学等に進学を希望する外国人留学生を対象に日本語教育を行っており、「主体的に学ぶ」という姿勢を育成することを教育目標として掲げています。本校は「日本社会に適合し、活躍できる人材を育成する」ことをミッションとし、日々教育に励んでいます。

取材日 2024年10月15日

業界 教育

URL <https://midream.ac.jp/>

導入前の課題

- 紙のテストの場合、翌週のテスト返却となり、学生の学習意欲は下がっているため、テストの復習が面倒に感じてしまう。
- 先生がテストの採点を行っていたので、かなりの時間を割く必要があった。
- eラーニング導入前は、テスト結果や学習の進捗状況、出席率などがバラバラに保管されていて、学生も先生も体系的に見られなかった。

導入メリット

- テスト採点が瞬時にできるので、テストの直後に学生へのフィードバックができるようになり、成績が向上し、教育効果も上がった。
- 先生は、宿題の採点作業が減った分、教材を作ったり、授業の準備ができたりと、教師本来の業務に注力できるようになった。
- 学生は、自分のテスト結果、学習の進捗状況や出席率などの学習カルテをいつでも自分で見られるようになっていて、自立学習の促進に役立っている。

■ 導入の背景

Q. なぜLenovo製タブレットの導入が必要だったのですか？

当校はGIGAスクール構想の一環としてeラーニングを進めていく方針を掲げ、近年ICT教育に力を入れてきました。一般の小中高向けのeラーニングソフトはいくつかあるのですが、日本語教育での利用には不向きな点もあり、自分たちに特化したものを開発する事になりました。他校との差別化、そして、教育の充実化という両輪で、当校独自のeラーニングシステムを開発しております。そのシステムを使って、授業だけでなく、自宅学習や課題、試験なども行おう

とすると、どうしても端末が必要になります。学生個人のスマートフォンなどのデバイスを利用すると、教育の内容にブレが出たり、一部の端末では動かないといった不具合が発生したりする可能性があるため、学校で統一のタブレット端末を全校生徒に一斉配布しようということになりました。



Q. 比較検討した製品を教えてください。

eラーニングのアプリ開発に際して、iPadとAndroidのどちらのOSにするか迷いましたが、アプリ開発の利便性や端末の金額、iPadはOSのカスタマイズができない点などを考え、Android OSを選択しました。その上で、今までは当校のロゴを入れたオーダーメイドのタブレットを使用していました。ただ既製品に比べると動作が不安定で、故障した時の修理が面倒でした。そのため別のメーカーに乗り換えて、オリジナルタブレットを制作しましたが、同じようにうまくいきませんでした。ある程度、弊社側の要望でカスタマイズできてうれしい部分はあったのですが、費用対効果に見合うものではなかったため、安定的に供給してくれるメーカーの製品のほうが良いということになりました。タブレットで実現したいことや予算感をテックウインドさんに相談したところ、Lenovoのタブレットをご紹介いただき、試しに数台購入して問題なく使えたので、それに決定しました。

Q. さまざまな製品がある中でなぜ「Lenovo製タブレット」の導入を決定されたのでしょうか？

今まで使用していたタブレットよりも明らかに動作が安定していて、操作性が優れていたため、文句なしでLenovoにしようということになりました。スペックと価格のバランスも良く、大量購入にあたって安定的な供給が見込めたことも重要なポイントでした。



校長 山田貴彦様

■ 導入の概要

Q. 「Lenovo製タブレット」の導入環境を教えてください。

全生徒に1年間で400名ほどに配付しています。2学年で800台ほどになります。

Q. 「Lenovo製タブレット」の優れていると思った点は何ですか？

Lenovo製タブレットは、以前のものよりも動作の安定性が高いです。故障することもほとんどありません。前の2機種は故障も多かったですし、テスト中にフリーズすることもありましたが、Lenovoではそういう事がほぼなくなりました。

Q. どのように運用されていますか？

自宅学習教材や課題の配信、定期試験の実施、授業などに使用しています。授業中の利用としては、辞書機能や調べものなどで使っています。以前は自分たちのスマホを使っていたのですが、そうすると、友達からメッセージが来ると、授業に集中できなくなることが多々ありましたが、タブレットを使うようになって、スマホに触る機会が減って、授業に集中できるようになったと思います。また、最近、電子黒板を導入したので、授業に電子黒板とタブレットを使った双方向でのやり取りを取り入れ始めました。

語学はある程度、量をこなす必要があり、そのためには宿題を増やす必要があります。でもそれは同時に採点の量も増えることになり、先生にとっては負担となります。これもeラーニングシステムで自動採点とすることで採点の事を気にせずに増やすことができています。

Q. 実際の使い心地はいかがですか？

動作の安定性が格段に上がって、スペックも上がり、インターフェイスも使いやすいです。充電の持ちも非常にいいです。以前のタブレットですと、2、3日放置すると使えなくなってしまうこともありましたが、そういったこともありません。

■ 導入後の効果

Q. 「Lenovo製タブレット」を導入してどんな効果がありましたか？

市販のeラーニングソフトはそれぞれの機能に特化したものが多いのですが、当社のシステムは、出席率などの学生管理システムや宿題・テストの採点機能などと統合されているので、成績判定もある程度自動で行えるようになっています。以前は、先生がテストの採点を行っていたので、かなりの時間を割く必要がありましたが、今は、宿題の採点作業が減った分、教材を作ったり、授業の準備ができたりと、教師本来の業務に注力できるようになっています。宿題やテストの採点を自動でできるようになると、先生の負担軽減だけでなく、テスト採点が瞬時にできるので、テストの直後に学生へのフィードバックができるようになり、成績が向上し、教育効果も上がりました。テストは、早く採点してできるだけ早く返せたほうが良いと言われています。即時フィードバックが効果的なのは、テストが終わった瞬間が学生にとって一番学習に対するモチベーションが高い状態だからです。これは、紙のテストでは絶対不可能なことです。紙のテストの場合、翌週のテスト返却となり、学生の学習意欲は下がって

いるので、テストの復習が面倒に感じてしまいます。今はそれとは雲泥の差です。

学生は、自分のテスト結果、学習の進捗状況や出席率などの学習カルテをいつでも自分で見られるようになっていて、自立学習の促進に役立っています。あと何日出席すると出席率が何%になるという計算機能もあり、自分で計算できるようになっています。出席率が出願条件になる学校もありますので、例えば出席率が90%になるために自分はあと何回出席しないといけないかを自分で考えられるようになっています。こういう自己管理が自立学習のスタートになります。成績の推移もグラフ化されていて分かりやすいので、先生もそれを見て、学生一人一人にきめ細かな指導ができるようになっています。eラーニング導入前は、テスト結果や学習の進捗状況、出席率などがバラバラに保管されていて、学生も先生も体系的に見られなかったのですが、今は学生カルテにすべて集約されているので、経過も分かりますし、今までの先生がどう指導してきたかの指導記録も一目で分かるようになっています。

日本語学校は、今まで入国管理局が管理していましたが、今年から文部科学省の管轄になりました。文部科学省は、自立学習の促進をカリキュラムの一つとして推し進めています。自立学習の促進のためには、いろいろな仕掛けづくりが必要になりますが、その一つにICT教育が大事になっています。そういう観点からもタブレットの利用は今後ますます重要になっていきます。

■ 将来の展望

Q. 今後メーカー（またはテックウインド）に期待することはありますか？

テックウインドさんには、いつも当校の教育環境などに合わせた適切な製品を紹介・提案してもらっていて、助かっています。今後も同じような対応を期待しています。

Q. どのように使っていきたいですか？

電子黒板を使って双方向の授業を行うにはタッチペンを使ったタブレットの活用が欠かせなくなっていくと思います。例えば、グループ毎にある政策のメリット、デメリットを議論させるといった授業をするときに、現状ではグループ毎に紙に書いてもらって、先生がそれを見ながら、集約したものを黒板に書いていくというスタイルですが、タッチペンがあれば、そのままタブレットに書かせて、それをシェアできるようになります。タッチペンなどのツールを有効に活用して、双方向授業をさらに拡大させていければと考えています。



導入製品



**Lenovo 10.1型Android タブレット
Tab M10 HD (2nd Gen)
ZA6W0227JP ◆昨年度630台導入**

- ・薄くて軽いスタイリッシュなボディ
- ・鮮やかな10.1型ワイドIPSパネル
- ・目に優しく、気楽につかえる
- ・臨場感のあるサウンド

薄さ8.25mm、質量約420gの薄型軽量設計。メタルボディと画面占有率約85%の狭額縁ディスプレイにより、使いやすさとスタイリッシュなデザイン性を追求した10.1型Androidタブレット。



URL https://www.tekwind.co.jp/lenovo/products/entry_s436.php



〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル 7F

テックウインド株式会社

TEL: **03-4323-8624** 【営業時間】 9:30~12:00 / 13:00~18:00 (土日祝日を除く)

URL: <https://www.tekwind.co.jp>

お問い合わせ先: 取扱店 / 販売店

このリーフレットの記載内容は2024年12月1日現在のものです。製品の外観、仕様等は予告なく変更される場合がございます。